

2024/4開講 研修認定薬剤師制度対象講座
(日本薬剤師研修センターPECS対象)

世界の薬剤師から見る 行列のできる 薬剤師とは。

患者さん中心のケアで、1000人のファンを作り、
1日40人に満足してもらう服薬指導講座



日本の薬剤師の10年後の姿は海外にあった!



「薬剤師はカウンターの奥から出て、薬を手渡すだけでなく、患者ケアの提供を通じた社会への貢献を始めるべきである。

調剤という単なる作業そのものに未来はない」

「Developing pharmacy practice A focus on patient care HANDBOOK—2006 EDITION」2006年WHO、FIP 発行

実際、イギリス、カナダ、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなど、海外では薬剤師による薬剤処方が進んでいます。また、2016年から25年にかけて、薬局でワクチン接種が可能な国は16か国から52か国まで増加しています。

20年経った今、日本でも薬剤師の働き方や存在価値に関して課題になっています。

高齢化社会・地域の過疎化・人口減によるドクター不足が目に見えている日本で、10年後の姿は海外の薬剤師の姿にあるのです。

患者さんから選ばれて、処方箋が集まる薬剤師は どんなコミュニケーションをとり、 どんな服薬指導をしているのか。

薬剤師の本質は何か。そして、薬剤師が地域から求められる役割は何か。

処方権があるカナダアルバータ州での留学経験をお持ちで、現在も海外に飛び回って世界の薬剤師の「いま」を知る、和歌山県立医科大学の岡田教授をお招きし、「薬剤師の価値」を学び直す機会であるとともに、患者さんからのありがとうが集まる薬剤師になるためにどんな働き方・接し方が求められているかを学ぶ、1年間のプロジェクトをスタートします。



講師紹介



和歌山県立医科大学薬学部 社会・薬局薬学研究室 教授 岡田 浩

36歳まで小中学校講師、学習塾講師として勤務後、長崎大学薬学部に入學。2005年に卒業、40歳で薬剤師の国家資格を取得。薬剤師として勤務していた中で、「仲良くなった糖尿病患者さんの血糖値が改善していく」という経験を機に、京都医療センターなどで研究に取り組み、2017年に京都大学大学院で博士号(健康社会医学)取得。その後、薬剤師に処方権がある、カナダ・アルバータ州に2年間留学。処方権をもった薬剤師の働き方・患者さんとの向き合い方・医療の変化を実感し、「日本の薬局薬剤師が高血圧患者を対象にカナダの薬局薬剤師と同様の介入を行うと、25年間で20兆5500億円の医療費削減効果が見込める」という論文を発表。薬局薬剤師が関わることで血糖値の改善率が2倍になることを明らかにされた岡田先生から、海外の薬剤師の職能に関すること、患者中心のケア、行動経済学の考え方を応用した研究と薬局現場での活用方法を学ぶ。

期待できる受講後の効果

- やりがいと誇りをもって仕事と向き合う薬剤師が増え、定着率も高くなる。
- 医師から信頼される薬剤師が増え、クリニックとの関係性も良くなる。
- 患者さんに選ばれる薬剤師が増えることで、面で処方箋を集めることができる。
- かかりつけ患者が増えることで、地域支援体制加算が取りやすくなる。
- 在宅の相談が増えることで、新規開拓せずにも在宅の数が増加する。



行列のできる薬剤師【講座 ロープレ編】

月1回×12か月 120分 オンライン

講座1

4/20(土)
15~17時

いま、薬剤師は何を求められているのか？
～エンパワーメントと地域薬局 患者支援のコツ①～
社会の高齢化や医療の高度化に伴うプライマリケアへのアクセスの低下は薬剤師の業務を大きく変化させている。地域で働く薬剤師に必須の考え方のベースであるエンパワーメントについて、具体的な例を通して学ぶ。

講座2

5/11(土)
15~17時

なぜ患者さんの行動は変わらないのか。
～ナッジを使った患者支援 患者支援のコツ②～
指導ではなく、望ましい方向に患者をいざなう手法として、行動経済学のナッジがある。このナッジを使った薬局での患者支援のコツについて症例を使って学ぶ。

講座3

6/15(土)
15~17時

患者さんが「自ら」意思決定する方法
～患者中心のケアとSDM 患者支援のコツ③～
患者中心のケア、エンパワーメント、SDM、コンコーダンスなど、社会の変化に伴い、理解すべき概念も広がっている。これらについて、具体的な事例を通して学び、実践する方法をみにつける。

講座4

7/20(土)
15~17時

患者さんが「理解できる」情報提供の順番とは？
～情報提供の3ステップ 情報提供のコツ④～
薬局で行う患者への情報提供にはコツがある。具体的には、順番や情報量のコントロールが重要であり、これらを症例を使って実践することを通して学ぶ。

講座5

8/10(土)
15~17時

「短時間」で満足度の高い服薬指導をする方法
～資料を使った支援 情報提供のコツ⑤～
薬局に準備されている様々なリーフレットや指導せん、Web上にある資料などを使い、短時間で有効性が高い資料を使った支援のステップを学ぶ。

講座6

9/14(土)
15~17時

患者さんが怖がらない副作用情報の伝え方
～情報提供のコツ⑥:副作用と療養支援～
副作用を伝えると患者は怖がって服用しなくなる可能性がある。しかし、必要な情報は伝えつつ、患者の行動変容を促すコツについて学ぶ。

講座7

10/12(土)
15~17時

生活習慣を変える気がない患者さんへの声掛け
～無関心期・維持期 変化ステージモデル①～
全く行動を変える気のない「無関心期」と、すでに半年以上の期間実施している「維持期」ではアプローチ法が異なる。この2つの時期の症例を使って声をかけるコツを学ぶ。

講座8

11/9(土)
15~17時

患者さんの行動変容が期待できるタイミングと声掛け
～関心期・準備期 変化ステージモデル②～
最も行動変容を促すうえで支援が必要な「関心期」と「準備期」の患者さんの支援の方法について具体的に学び、薬局で実施できるようにする。

講座9

12/14(土)
15~17時

薬剤師がやってはいけないコミュニケーションスタイル
～性格タイプ別アプローチ:①自分のタイプを知る～
ユングの心理学を基に開発された性格タイプを使い、自分の性格タイプがどのタイプであるのかを知る。また、他のタイプの特徴についても学ぶ。

講座10

1/11(土)
15~17時

患者さんに「合わせた」コミュニケーションスタイル
～性格タイプ別アプローチ:②相手のタイプを知る～
相手の性格タイプを見分けるコツを知り、相手に合わせた声のかけ方やコミュニケーションを実践してみる。

講座11

2/8(土)
15~17時

患者さんのタイプ別の「具体的な」アプローチ方法
～性格タイプ別アプローチ:③タイプ別アプローチ:赤色・緑色～
性格に合わせたアプローチ方法や対応のコツについて学ぶ。

講座12

3/8(土)
15~17時

患者さんのタイプ別の「具体的な」アプローチ方法
～性格タイプ別アプローチ:④タイプ別アプローチ:青色・黄色～
性格タイプ(青色・黄色)という対照的な性格を持つ患者へのアプローチを知り、実践できるようになる。

さらに 行列のできる薬剤師【取り組み事例共有会&相談会】

月1回×12か月 60分 オンライン

ChatGPTと描く新しい対人業務のカタチ 行列のできる薬剤師研修講座 オンライン説明会

【なぜ、この講座なのか?なぜ、いま必要なのか?受講する価値はあるのか?】
オンライン説明会では岡田教授自ら、いろんな疑問にお答えします!

お申し込みは
こちらから➡



2月21日(水) 19:00 ~ 20:15

3月13日(水) 13:00 ~ 14:15

https://bit.ly/solamichi_seminar_20240221-0313

満足保証

2回目講義後までに、これは違うとご判断されましたら受講料全額をご返金いたします。